

西大和つうしん

2018年7月号

No.433



シロヤシオ咲く木の下、行者還岳を目指し大峰奥駈道を行く 《2018.5.27.》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第433号(2018年7月号)

【目次】

7月度山行計画.....	1
8月度山行計画／7・8月度の夏山自主山行予定.....	2
7・8月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・例会山行 《5/27》 大峰山脈 行者還岳(藤井).....	5
・自主山行 《6/3》 金剛山地 葛城山：県連主催クリーンハイク(上田).....	5
・自主山行 《6/5-10》 九州の山 由布岳・九重連山・祖母山(中・上田・橋本).....	7
・例会山行 《6/17》 鈴鹿山脈 仙ヶ岳(野路).....	10
室内例会だより(5/30).....	11
2018年度第2回運営委員会議事録(6/9).....	12

7月度山行計画

～北摂の名峰 能勢の妙見さん～

例会山行1 北摂の山 《妙見山》 660m

【日程】7月1日(日) (L永井)

【集合】JR王寺駅 7時24分発大阪行に乗車

【交通】JR王寺 7:24→8:02 大阪／阪急梅田 8:20→8:41 川西能勢口 8:44→9:11 妙見口

【コース】妙見口～(20)～ケーブル黒川駅～(30)～大堂越～(30)～リフト妙見山駅～(10)～能勢妙見山本殿～(30)～初谷出合～(40)～沢渡り～(30)～奥橋～(20)～妙見口

※ 歩行時間：約3.5時間

～【夏山訓練山行】夏山縦走コースに参加される方は是非ご参加ください～

例会山行2 比良山系最高峰 《武奈ヶ岳》 1214.4m

【日程】7月8日(日) (L野路)

【集合】参加メンバーで決定(①JR堅田より・②京阪出町柳より)

【コース】坊村～御殿山～武奈ヶ岳～八雲が原～北比良峠～大山口～イン谷口～比良駅

※ 歩行時間：約7時間

※ 歩荷訓練山行なので女性10kg、男性はそれ以上を目標に頑張りましょう!!

※ 目標なので各自で調整ください。歩行はボッカの方に合わせて歩きますのでゆっくり歩きます

～自然豊かで清らかな渓谷美を楽しみましょう～

例会山行2 大塔山地 《百間山溪谷》 999m

【日 程】7月15日(日) (L田中悦男)

【集 合】上牧駐車場 6時30分

【コース】百間山溪谷 P～(5)～入口～(8)～梅太郎淵～(7)～吊橋～(17)～猿渡～(5)～東屋～(12)～夫婦滝(8)～犬落の滝～(40)～百間山登山口～(30)～百間山頂上～(20)～百間山登山口～(5)千体仏～(40)～犬落の滝～(60)～入口～(5)～百間山溪谷 P

※歩行時間：4時間22分

8 月 度 山 行 計 画

～珍しい廃線路とトンネル歩き～

～トンネルでは、普段にあまり使わないヘッドランプを使ってみましょう～

例会山行1 武田尾・宝塚 《武庫川峡谷・大峰山》

【日 程】8月19日(日) (L中)

【集 合】JR西宮名塩駅 8:30

【交 通】王寺 7:11→7:50 大阪 7:54→(丹波路快速篠山口行)→8:24 西宮名塩

【コース】JR西宮名塩駅～親水広場・桜の園ハイキング道口～どんぐり道～東屋～大峰山～東屋～武田尾駅

※ 歩行時間：4時間43分

※ 時間が短いので希望者のみですが基本のロープワークを練習します。

★7月・8月の夏山自主山行予定

- 7月1日(月)夜～4日(木)：L 中
蝶ヶ岳～常念岳(北アルプス)
- 7月16日(月)夜～22日(日)：L 野路
会津駒ヶ岳～燧ヶ岳～尾瀬ヶ原～至仏山(尾瀬)
- 8月5日(日)～8日(水)：L 杉村
西鎌尾根～槍ヶ岳～大喰岳～中岳～南岳(北アルプス)
- 8月15日(水)～19日(日)：L 亀高
燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳～徳本峠(北アルプス)
- 8月24日(金)夜～28日(火)：L 藤井
室堂～龍王岳～越中沢岳～薬師岳～折立(北アルプス)

西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	日	例会山行1《妙見山》(永井)	1	水	
2	月		2	木	
3	火	県連理事会	3	金	
4	水		4	土	
5	木		5	日	
6	金		6	月	
7	土	テーピング講習会:郡山市民交流館 13:30~	7	火	県連理事会
8	日	例会山行2・夏山訓練山行《武奈ヶ岳》(野路)	8	水	
9	月		9	木	
10	火		10	金	
11	水		11	土	
12	木		12	日	
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日	例会山行2《百閒山溪谷》(田中悦)	15	水	
16	月		16	木	
17	火		17	金	
18	水		18	土	
19	木		19	日	例会山行1《大峰山・武庫川溪谷》(中)
20	金		20	月	
21	土		21	火	
22	日		22	水	西大和つうしん原稿締切
23	月		23	木	
24	火		24	金	
25	水	西大和つうしん原稿締切	25	土	
26	木		26	日	
27	金		27	月	
28	土		28	火	
29	日		29	水	7・8月度室内例会
30	月		30	木	
31	火		31	金	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	6/27	7/1 例会1	7/7 県連	7/8 例会2	7/15 例会2	8/19 例会1	
		室内 例会	妙見山	テーピング 講習会	武奈 ヶ岳	百間山	武庫川 峡谷	
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井							
4	(石田)							
5	田中悦		○			LO		
6	島崎		○					
7	田中初		○					
8	村田							
9	林		○	○				
10	勝尾							
11	藤本							
12	杉村							
13	高橋							
14	玉越							
15	橋本			△				
16	亀高		○					
17	船江							
18	野路		○		LO			
19	中			○			LO	
20	杉森		○					
21	上田							
22	永井		LO					
23	川田							
24	高岡							
25	岩田		○					
26								
27								
	合計		10	3				
	緊急 連絡先		都築					

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2

大峰山脈 行者還岳 1546.2m

【日 程】5月27日(日) 晴れ

【参加者】CL 藤井・AL 島崎・BL 林・ASL 橋本・BSL 杉村・田中悦・亀高・船江・野路・中・杉森・上田・岩田(13名)

【コースタイム】トンネル西口P(8:50)～奥駈出合(10:00)～一の埜(10:44)～P1458(11:20)～行者還小屋(11:55/12:30 昼食)～行者還岳(13:00/13:10)～行者還小屋(13:40)～P1458(14:22)～一の埜(14:55/15:00)～トンネル東口(16:00)～トンネル西口P(16:20)

爽やかな5月の一日、新緑と花を求めて大峰を歩く。

トンネル西口からいきなりの急登が続く。今年は花の開花が早く、もう石楠花は終わっていた。

奥駈道の合流点に着くと、いつもの弥山とは反対の方向に向かって歩く。景色は一変して、尾根のなだらかな笹原の道になる。純白の花をいっぱいつけたシロヤシオがあちこちに咲いていた。展望も開け大峰台高の山々の展望が広がる。とても快適な気分のいい登山道だ。

楽しみにしていたクサタチバナも白い花を咲かせていた。アップダウンも少なく、遠くに見えていた行者還岳の鋭鋒がだんだん近づいてくる。

山頂直下の小屋のそばで昼食タイムとする。花の美しい季節とあってたくさんの登山者が休憩していた。食後、登り口から足元の悪いガレ場、急なはしごが続くが、それをクリアしてしばらく進むと



錫杖が立つ行者還岳山頂に着く。シャクナゲはほぼ終わっていたがそれでもまだ咲き残っていた花が目を楽しませてくれた。そして、ひっそりと一株のギンリョウソウが。

行者さんも垂直にそそり立つ岩壁に恐れをなして引き返したと言われる行者還岳、山頂から岩壁を見おろすと真下に小屋の屋根が見えた。

下りも同じ快適な道を引き返す。一の埜から今度はトンネル東口に向かって急降下する。もう少しだという気の緩みと疲労もあって、かなり長くきつく感じた。やっとトンネルの東口に到着。殆ど車も通らない真っ暗なトンネルを1キロあまり、ライトを点けて歩き駐車地のトンネル西口に着いた。



ちょうど花のいい季節に行くことができ、天気にも恵まれ、気持ちよく大峰の奥深い山を歩けた。
(記：藤井益子)

例会山行1 (県連主催クリーンハイク) 金剛山地 葛城山 959.2m

【日 程】6月3日(日)

【参加者】CL 亀高・AL 田中悦・BL 島崎・ASL 杉森・BSL 船江・藤井・田中初・林・勝尾・橋本・野路・上田・岩田・一般参加者4名(計17名、うち子供1名)

【コースタイム】葛城山登山口(9:15)～自然研究路分岐(10:40)～ダイトレ分岐(11:10)～弘川方面分岐(11:38)～葛城山頂上(12:04)～ロッジ前(12:15/13:00 昼食)～櫛羅の滝(14:24)～登山口(14:50)



昨年は台風 21 号で被害を受けた葛城山。北尾根を登り始めると登山道は荒れている。

土は流され木の根がむき出しになり足の置場も難しい。A 班から 1 列で上っていると先頭がにわかに賑やかになる、ゴミ回収に手ごたえがあったらしい。自然研究路分岐で小休止、ここからの自然研究路は崩落の為通行禁止のロープがかけてある。水分補給しながら、ゴミ探しも忘れない。ダイトレ分岐から広川方面への分岐に着くころには結構なゴミが集まっていた。ゴミはベンチの周り、稜線にでた所、緩やかな斜面のある場所、笹や草木に覆われた所など休憩場所、ひと息いれたい場所に落ちていたり、登山道から少し離れた杉の人工林に隠れていることがわかる。お菓子の空袋、ビール缶、ジュース缶、ペットボトルはまあいい、鉄くず、傘、一升瓶はどういう事？ 意外なゴミに驚く。



山頂では大勢のハイカーたちが寛いでいる。私たちも木陰でランチタイム。下山は檜羅の滝コースへ、婿洗いの池から先の道はひどく荒れており、トラロープ、テープがそこに張ってある。下山路に横たわる大木、地滑りや、土砂崩れ、陥没が続く。迂回路の指示も数か所あり、台風の爪痕はまだまだ消えそうもない。今度大雨がくれば、また崩れそうな状態だ。

頂上から 1 時間 20 分で檜羅の滝に着く。昔の面影はない。以前の姿を思い出せない。滝の位置、高さも変わっている様に感じる。遊歩道も砂で埋まり、大雨で流されてきた大きな石、流木が景色を変えてしまっている。どこから来たのか解らない粗大ゴミを収集する。メンバーの集めたゴミは袋からあふれ出ている。14 時 50 分、ロープウェイ乗り場下の東屋に到着。今回集めたゴミの総重量は 26.5 キロ。多いのか、少ないのか？ 一般参加の方々も積極的に行動してくださり、楽しくゴミ拾いに汗をかきました。今日最大のご褒美は檜羅の滝手前でたった一輪、す。荒れた山に沈みがちな気持ちが軽くなりました。

朝 9 時、葛城山ロープウェイ乗り場には沢山のハイカーが上がってくる。バスもほぼ満員の状態。好天に恵まれ頂上を目指す。さぞや山頂はゴミ集めに忙しいのではと期待？ する。9 時 15 分、山の会メンバー 13 名と一般参加の方 3 名プラス子供 1 名。A 班、B 班に分かれ、ゴミ袋と金ハサミを持ち勇ましくロープウェイ乗り場から北尾根コースへと入って行く。県連主催クリーンハイクは今年で 45 回目。今回参加くださった一般の方達は何度もクリーンハイクに来られていて、すっかり山の会に溶け込んでおられる様子。



お菓子の空袋、ビール缶、ジュース缶、ペットボトルはまあいい、鉄くず、傘、一升瓶はどういう事？ 意外なゴミに驚く。

山頂では大勢のハイカーたちが寛いでいる。私たちも木陰でランチタイム。下山は檜羅の滝コースへ、婿洗いの池から先の道はひどく荒れており、トラロープ、テープがそこに張ってある。下山路に横たわる大木、地滑りや、土砂崩れ、陥没が続く。迂回路の指示も数か所あり、台風の爪痕はまだまだ消えそうもない。今度大雨がくれば、また崩れそうな状態だ。

頂上から 1 時間 20 分で檜羅の滝に着く。昔の面影はない。以前の姿を思い出せない。滝の位置、高さも変わっている様に感じる。遊歩道も砂で埋まり、大雨で流されてきた大きな石、流木が景色を変えてしまっている。どこから来たのか解らない粗大ゴミを収集する。メンバーの集めたゴミは袋からあふれ出ている。14 時 50 分、ロープウェイ乗り場下の東屋に到着。今回集めたゴミの総重量は 26.5 キロ。多いのか、少ないのか？ 一般参加の方々も積極的に行動してくださり、楽しくゴミ拾いに汗をかきました。今日最大のご褒美は檜羅の滝手前でたった一輪、す。荒れた山に沈みがちな気持ちが軽くなりました。



ささゆりが私たちが労うように咲いていた事で
(記：上田雅子)

クリーンハイク活動概要（県連への報告書より）

登山道は、往路の北尾根コース、復路の檜羅の滝コースともゴミは少なかったが、登山道沿いに時折現われる杉の人工林に分け入ると、長期間放置されていたと思われるゴミが散見された。具体的には1升瓶や樽生ビール容器などが放置されており、登山者が分け入るような場所ではないこと、かたまってあるわけではなく点在していたこと、相当の時間経過が進んだ古いゴミであることなどから、相当以前に林業関係者が飲食物を放置したものであろうと考えられた。また、ロープウェイ客も登って来る山頂付近にはビニール傘など登山者は使用しない比較的新しいゴミも多かった。



また、台風の影響のためか、登山道整備に使われていたと思われる鉄製の部品や林道の水路の確保等に用いるゴム板など、登山道整備用の資材が、土砂災害で散乱したと思われる物質も散見された。上記のゴム板は檜羅の滝下流付近において砂礫で埋まっていたものである。

結果として、思っていた以上に多いゴミの量となった。

※ゴミの量：缶類 2.5kg、ガラス・ビン類 4.0kg、ペットボトル 0.7kg、燃えるゴミ 9.3kg、燃えないゴミ（粗大ごみ）6.9kg、鉄くず 3.1kg……………合計 26.5kg
(記：亀高茂)

自主山行 九州の山 由布岳・九重連山・祖母山

【日程】6月5日(火)～10日(日)
【参加者】L橋本・SL中・上田(計3名)

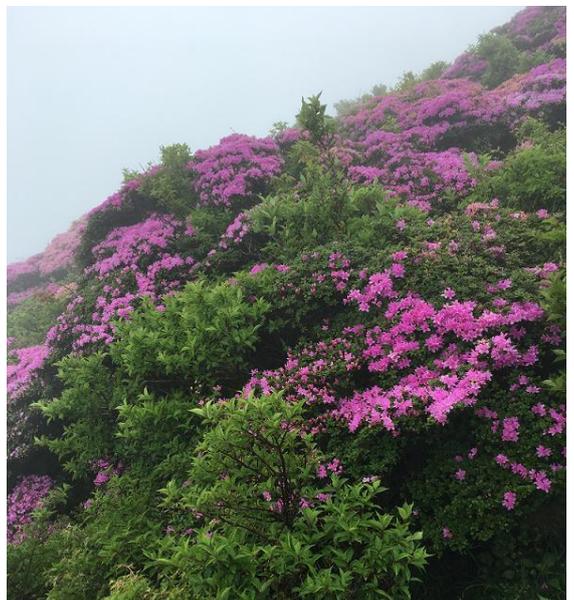
6月6日(水) 由布岳(1,583m) 雨

【コースタイム】正面登山口(9:15)～合野越(10:15)～マタエ(11:35/11:45)～東峰(12:00)～マタエ(12:25)～合野越(13:25/13:35)～登山口(14:15)

やっと九州大分港に着きました。これから待ちに待った山行が始まります。あちこちで湯煙が立ち上っています。天気は残念ながら雨。でも想定内!! 車をレンタルし、素晴らしい眺めのやまなみハイウェイを走り、登山口へと移動。

登山口は道路沿いにあり解りやすくトイレも整備されている。登山道も非常に歩きやすく、道迷いの心配もないと思う。中腹辺りからミヤマキリシマの枯れかけた花が現れる。「やっぱり花はおわっているのかな」と落胆していると、すれ違ったパーティの方々の「上は綺麗に咲いているよ」との情報を受く。周りは何も見えない雨の中チョット気が軽くなる。マタエ付近からは山肌に咲く花を見る事が出来た。

由布岳は岩場の西峰、東峰の双耳峰となっている。雨なので危険の少ない東峰のピークのみを踏み下山とした。緑のピロードを敷き詰めたように見える草原の中、車を走らせ九重町へと向かった。
(記：橋本紀子)



6月7日(木) 由布岳(1,583m) 雨

【コースタイム】 長者原登山口(8:00)～坊がつる(10:56)～大戸越(12:20)～平治岳下(12:30/13:05)～段原(14:18)～大船山(14:40/50)～段原(15:10)～坊がつる(16:20)～法華院温泉(17:07)

朝の晴れ間はあまり続かなく薄曇りのなか最初の湿地帯、たで湿原の板道を歩き雨ヶ池コースと指山の分岐に登山届のポストがあり投函する。標高が高くなっていくと散り終わりから満開へと変化していくミヤマキリシマを眺めながらの上りの道、だんだんとピンクに染まる山頂がみえてきました。稜線に出ると指山、三俣山の奥に煙を上げている硫黄岳が見える雄大な眺めを楽しみながら平治岳下に着く。平治岳(1,643m)に登ると法華院温泉の到着に無理があると判断し登頂を諦めて昼食を摂り大船山(1,786m)へ向かう。大船山山頂に近づくと岩が多くなり少しだけ登攀のところもありました。大船山山頂から見える平治岳の山頂の窪地もミヤマキリシマでピンク色に染まっていました。大船山から坊がつる湿原入口の避難小屋までの道はミヤマキリシマの大群落地と地図にあり、文字通りミヤマキリシマに埋もれて歩くと言った感じでした。山道の幅は狭く美しい花の下は細くても硬く良くしなるムチのような枝で腕や腿に当たり「痛い！」の連呼でした。坊がつるをぬけると今日の宿泊地、法華温泉に着く。どこを歩いてもミヤマキリシマに包まれた感動の山行でした。



(記:中昌子)

6月8日(金) 九重連山 すがのもりコース 雨

【コースタイム】 法華院温泉(7:40)～鉾立峠(8:20)～白口岳(9:26)～中岳(10:26)久住分かれ(11:00)～すがもり越下(12:03)～長者原登山口(14:00)



今日は雨、九重連山最高峰・中岳(1,791m)に向かいます。歩行時間、眺望もあまり期待できないので、予定していた久住山は省略する。鉾立峠分岐で進路、方角を確認。ガスの為目標を定める事が難しいので道標を落とさない様に時間をかける。コンパスと地図が頼りだ。峠を過ぎ振り返るとガスの切れ間から法華院温泉(1300m)と坊ガツル湿原が見えている。白口岳から中岳の急登、本降りになった雨のなか慎重にのぼる。天狗ヶ城から北千里ヶ浜までは点々と黄色のペンキで塗られている。空港の誘導灯の様だ。この辺りは川原の様に広々としており道迷いの危険があるのだろう。時折硫黄の臭いがしてくる。硫黄山が近い。雨も小降りになり、すがもり越え分岐に着くと正面に三俣山がれる。ここから東へ1時間も歩けばまた法華院温泉に行く事が出来る。すがもり峠を越えるとゴロゴロと雷が空中をあちらこちらと走り回りだす。岩だらけの道なき道では身を守る場所もなく、避ける方法も判らないので神様に「どうぞお助けを！」と祈りながら下山する。見慣れた長者原ビジターセンターに着くころには空は晴れて太陽がジリジリ

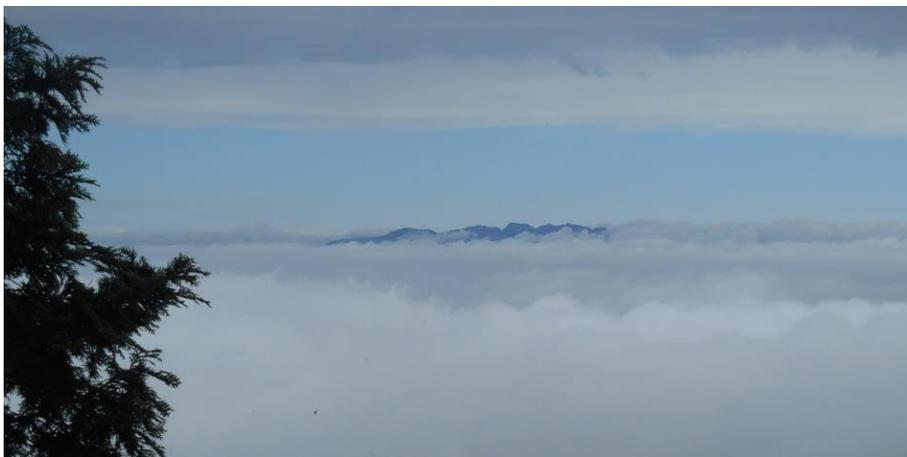
と暑苦しい。九重連山の登山道は最近の台風と大雨の影響でほとんど荒れていて滑りやすく浮石も多かった。私たち「かしまトリオ」も歩行時間が標準コースタイムより遅くなっている事を実感した。これからの山行には時間の配分が必要だ。

待望のミヤマキリシマは、行く先々で出迎えてくれる。堪能した。

(記：上田雅子)

6月9日(土) 祖母山(1,756m) 曇り

【コースタイム】北谷登山口(8:00)～国見峠(10:20)～山頂(11:15/11:40)～九合目避難小屋(12:00)～国見峠(12:40)～北谷登山口(14:25)



宿泊先のホテルの部屋からは阿蘇山の山々の大パノラマが楽しめた。朝焼けを背にした根子岳、高岳、中岳、杵島岳、烏帽子岳の山並みを見ていると飽きないが、九州最後の登山となり下山後は別府港(2時間30分～3時間かかる)まで帰らなければいけないので早めの出発とした。

ナビに登山口近くの情報を入力。名ドライバーUさん他、

人間ナビ2名で土地勘のない道を走る。「登山口に続く山道は舗装していない箇所もあり、苦戦する」と、どの情報を見ても書かれていたのでハラハラドキドキ。でも軽やかなハンドルさばきのドライバーにただただ感謝する。駐車場に着き何台かの車を見た時には、本当にホットした。

北谷登山口～国見峠を経て頂上に登るコースを行く。途中阿蘇5岳、昨日歩いた九重連山が見えるところがあるが、あいにく雲に隠れ全貌は見えない。頂上も少しミヤマキリシマが残っていたが、雲に覆われ展望は無い残念!! 下山途中では避難小屋付近でオオヤマレンゲに出会えた。

登山道は0.56kmごとに道標が立っており道に迷う事はないが、雨水のためか道が大きくえぐられた溝状になっていて非常に歩きにくい。昨日も一日雨だったので滑りやすく、油断して足を運ぶとツルツルと滑ってしまう。この場に及んで転倒は禁物。細心の注意を払って歩いた。この山は百名山だか、アクセスが良くないので今回のような機会がなければ来ないと思う。登れて本当に良かった!!

(記：橋本紀子)



反省点

- ・怪我無く山行を終えたことが良かった。天気はあまりよくなかったが、美しい花を堪能できた。
- ・標準タイムより歩く時間が遅くなっているので、もっと早く宿を出発した方が良かった。

との感想、反省点が挙げられた。

私自身このような長い日程のリーダーをしたのは初めてなので大変心配だった。以前山行された報告が貴重な資料となり、計画する事が出来たと思います。有難うございます。山行を終え、「まだまだやなあ」とつくづく思い落ち込む。でもメンバーそれぞれ役割をこころよく引き受けて下さり行動して下さったので、助けられました。どの山にもコンパス、地図を持ち確かめながら歩きました。このような行動が、少しずつでも身につけて来たのは会の御蔭だと思います。感謝いたします。

(記：橋本紀子)

【日 程】6月17日(日) 曇り(霧)

【参加者】L 林・SL 藤井・SL 田中悦・SL 島崎・SL 橋本・勝尾・亀高・船江・中・杉森・岩田・野路(計12名)

【コースタイム】上牧駐車場(6:30)～石谷川登山口(8:25)～南尾根・白谷道分岐(9:10)～不動明王分岐(10:15)～仙ノ石(11:45/12:20 昼食)～仙ヶ岳西峰(12:35)～御所谷分岐(14:35)～南尾根・白谷道分岐(15:20)～駐車場(15:52)
※歩行時間:約7時間30分(休憩含む)

県道から茶畑の中を走り、荒れた林道をガタガタと揺れながら、崩落した細い道を抜けると車が4～5台は止められる駐車場に到着。

身支度と各自「ヒル対策」をして出発。緩やかな林道は倒木や大きな岩が崩落して少し荒れている。登山口から暫くすると旧営林小屋跡。南尾根と白谷道の分岐を南尾根・滝谷不動明王の道を沢沿いに登って行く。「ヒルが踊り獲物を捕らえよう」と構えている。手袋をすると岩や木を持った時に「ヒル」が手袋に付いても見えにくいので、素手にしていた。掴んだあとは必ず手を見て払っていたのに、チクツとしたので袖口をめくると大きなヒル(4～5cm)が手首の上まで這い上がっていた!! 袖口に付いてそのまま手首の上まで上がり張り付いたのでしょか。



沢沿いの道はかなりの急登で、各所で岩が崩落していて倒木などで道は荒れている。また岩が濡れ、苔むしてとても滑り易く、慎重に登って行く。途中からは直登に近いとても厳しい登りが分岐まで続いた。不動明王にお参りして、不動明王の上の岩まで登って観るが、ガスで何も見えない!! 不動明王分岐からは尾根歩きになり、沢沿いの道とは一変して、いきなりロープを垂らした岩場が出てくる。足場はしっかりとあるので登り易い岩場であった。そして岩場とピークの連続が待ち受ける南尾根の核心部に入って行く。ちょっとした岩場歩きを楽しめるコースだが、ガスがなかったら伊勢湾や鈴鹿の山並みが美しい尾根歩きになったことでしょう。



仙ノ岩で昼食。仙ノ岩は大きな岩が逆さに立っていて、不安定な岩でした。仙ノ岩から15分ほどで仙ヶ岳西峰に到着。鞍部まで戻り白谷道を下山。登り同様沢沿いを下ります。何か所も大小様々な石、岩が崩落していて倒木もあり、とても歩きにくいコース。滑らないよう慎重に慎重に…。数え切れない渡渉を繰返し、どの橋も朽ち果てている。登山道の整備はされておらず、分りづらい箇所もあり、ゆっくりと道を確認しながら下山。最後まで気の抜けないコースでした。

ガスで展望もなかったが、岩稜が続く南尾根、鎖場、梯子、渡渉と変化にとんでとても面白いコースでした。(記:野路政子)

室内例会だより

【日 時】2018年5月30日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、橋本、亀高、野路、中、杉森、上田、永井、岩田、都築(記録)

1. 山行計画

- 6月 3日(日) 例会山行1 クリーンハイク 金剛山地《葛城山》959.2m……………L 亀高
- 6月 17日(日) 例会山行2 鈴鹿山脈《仙ヶ岳》961m……………L 林
- 6月 24日(日) 例会山行2 鈴鹿山脈《御在所岳》1209m……………L 杉森
- 7月 1日(日) 例会山行1 北摂の山《妙見山》660m……………L 永井

2. 山行報告

- 4月 22日 例会山行2 近江・湖南の山《金勝アルプス》L 船江……………6名
- 4月 22~23日 自主山行 関東・御坂山塊《三つ峠山・大菩薩嶺》L 島崎……………3名
- 4月 28日 自主山行 金剛山地《ダイヤモンド・トレイル》L 中……………4名
- 5月 6日 自主山行 比良山系《堂満岳》L 藤井……………5名
- 5月 6日 自主山行 クリーンハイク下見 金剛山地《葛城山》L 亀高……………3名
- 5月 13日 例会山行2 (県連主催)「ハイカーのための救急・搬出講習会」
午前《榎原消防署》/午後《県立榎原公苑球技場エントランス》L 島崎……………7名
- 5月 20日 例会山行1 北摂の山《ポンポン山(加茂勢山)》L 中……………11名

3. 県連救助隊について

- ・県連救助隊の行事に参加する場合に西大和から派遣するどうか

県連救助隊(隊長:藤田さん《ジョイ アッセント クラブ》)については、現在、「ハイカーのための搬出講習会」と「広域搜索訓練」を実施しているが、今後は参加するだけでなく何らかの協力を要請される可能性があることから、会員に意見を出してもらった。

会員からは、「ハイカーのための搬出講習会」については、当会にとって必要な講習会であり派遣する必要があるという意見が多く出された。しかし、「広域搜索訓練」については、当会に搜索を要請される可能性があるのか、搜索できる実力があるのか、疑問視する意見が多く出されたため、当会としては、何らかの協力を要請されるのであれば、「ハイカーのための搬出講習会」だけに派遣する方向で県連に報告することになった。

4. 連絡その他

★県連関係

- ・7月7日 県連女性委員会主催「テーピング講習会」:郡山市民交流会館 13:30~

★本会より

- ・6月9日(土) 15:00 運営委員会
- ・各山行リーダーは、原則として写真撮影係は2名の方を指名すること。
- ・山行計画をメール送信する時のファイル名は、「20180530〇〇山」にすること。
- ・6月10日(日) プラチナ山行

以上

2018年度 第2回運営委員会議事録

【日 時】2018年6月9日（土）15:00～17:00 事務所

【出席者】島崎・林・野路・亀高・藤井・田中(悦)・都築

1. 年間山行計画において、変更が生じた場合の対応方法について

例会山行日にリーダー自身の都合がつかなくなり、日程等を変更する場合のルールについて

- ①日程・山行先はそのまま、リーダーを他の人に交代してもらう。
- ②山行月の他の空いている日程に変更する。（8月の赤目四十八滝の方法）
- ③他の日程の山行と入れ替える。（6月の林さんと杉森さんの仙ヶ岳と御在所岳の方法）

以上3つの方法について検討したところ

①、②、③のいずれかをその時の状況に合わせて選択すれば良いということになった。ただし、可能な限り2ヶ月前までに変更し、直前に変更する場合には、①日程・山行先はそのまま、リーダーを他の人に交代してもらうこととする。

2. 一般募集をする場合の留意点と新入会員増加のためのその他の活動について

「公開山行の一般参加者募集に関する意見のまとめ」をもとに審議した結果、公開山行は、①事前に会長にメールで申し込みをする。②年齢制限を設けて70歳以下とする。また、例会山行1のお試し山行については、①事前に会長にメールで入会申し込みがあった人を対象とすること、②年齢制限は入会規定の65歳以下とし、次の入会申込者が希望する場合に試行する。

3. 県連救助隊について

県連より協力要請があった場合「ハイカーのための搬出講習会」には協力するが「搜索訓練」には協力し兼ねることを県連理事会に報告しているが、県連としては救助隊そのものをどうするか年度内に検討しているとのこと。

今期（2018年6月～2019年5月）は、西大和山の会より4名（島崎、林、亀高、田中悦）を県連救助隊名簿に明記する。

4. 会則（第5章 財政）及び細則4（特別基金運用規定）の内容変更の提案等(4件)について

会則、細則等に関する改正点提案について、以下の通り運営委員会で検討して合意した（赤字が改正点）。最終的に合意後、運営委員案として年度末の総会に諮る。

- (1) 西大和山の会会則（第5章 財政）第10条の2項「本会の会計年度は、3月1日から翌年2月末までとし」を「**4月1日から翌年3月末までとし**」に改正する。

また、第10条の5項「会費の支払いは、毎年3月～8月の期間に入会した会員は、入会と同時に入会した月より8月分より一括して支払う。会員の会費支払い月は3月・9月とする。」を「**毎年4月～9月の期間に入会した会員は、入会と同時に入会した月より9月分まで一括して支払う。会員の会費支払い月は4月・10月とする。**」に改正する。

- (2) 細則4 特別基金運用規定第7条を以下のように改正する。

西大和基金は、積立金の1/2の範囲内において、以下に掲げる場合に限り、遭難対策に関連しない事象においても本会への貸し付け及び高額な装備品や事務所移転に伴う費用などには使用できる。

- ① 一般会計に不足金が生じたときの貸し付け
- ② 高額な装備品の購入もしくは補修費用への使用
- ③ 本会の事務所または倉庫などの賃貸もしくは移転に伴う諸費用への使用

また、「第9条 3 第7条に基づく貸付の返済は、原則として積立金を充てる」は削除する。

- (3) 以下の事項を骨子とする「細則5 会計運用規定」として新たに設けることとし、会計の野路さんが案を作成する。

第1条 【伝票】 会計は次の伝票を作成する。

- 1.入金伝票 [現金収入の時に起こす]
- 2.出金伝票 [現金支出の時に起こす]
- 3.振替伝票 [銀行の振込や利息・その他振替に起こす]

第2条 [帳簿] 会計は次の帳簿を置くこととする。

- 1.現金出納帳 入金伝票、出金伝票に基づいて記帳をしていく。
- 2.銀行勘定帳 振替伝票に基づいて銀行の入出金と利息など、記帳をしていく。
- 3.総勘定元帳 全ての入出金分かる帳簿(現金・銀行など)

第3条 [保管]

会計の入出金振替伝票、帳簿、領収書、決算報告書等の書類の保管期間は5年とする。

第4条 [会計監査] 会計監査は前会計担当者が指名され承認される。次の事項を行い決算報告書との照合、確認、署名捺印をする。

- 1.現金出納帳の残高と現金の照合。
- 2.銀行勘定帳の残高と通帳の照合。
- 3.総勘定元帳で使用状況の適正か否かの確認。
- 4.領収書との確認。
- 5.その他

(4) 細則4 特別基金運用規定第5条2項に規定する「西大和基金の事業目的に必要なかつ十分な積立金が確保できたと判断した場合、総会に諮って積立を停止することができる」金額を100万円とすることを決定し、附則として定める。

5. 運営委員会の開催規定について

会則の運営委員会に関する規定に、「運営委員会は集会だけでなくメールによる意見集約によっても決定することができること」を追加することについて、会則第8条 運営委員会に次の条文を加える。

運営委員会は委員の三分の二以上の出席によって成立し、決議は出席者の過半数をもって行う。
運営委員会は、集会の開催による議決のほか、会長が承認した場合においては、特定の議題に関して委員全員にメールによって意見を問い、議決することができる。

6. その他

暑気払いの日程を9月2日(日)から9月16日(日)に変更する。

以上

西大和つうしん

第 433 号 (2018 年 7 月号)

2018 年 6 月 27 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.com/](http://www.nishiyamatoyama.com/)